

## 和歌山県景観資源登録 第2号

### 「宮原の熊野古道とみかん畑」(有田市宮原町畑235-3)



有田市宮原町は、海南市下津町の拝ノ峠から、古くは舟により有田川を渡った、宮原の渡しに至る熊野古道が縦断し、古道沿いに蕪坂塔下王子、山口王子などの史跡が連なる地域で、地域では熊野古道の保存活動が積極的に行われています。また、みかん栽培の盛んな地でもあり、石垣と防風樹に囲まれたみかん畑は山々一面に広がっており、みかんの花の開花時期には、谷を覆うように愛らしい白い花々と甘い花の香りに満ち、収穫時期には斜面一面がみかん色に染まり、季節により変化ある景観を楽しむことができます。

信仰の道である熊野古道と、先人が作り営んできた地域の基幹産業である柑橘栽培により形成された景観を守ることは、良好な景観形成に資するものとして、これらを一望できる眺望点を、このたび、宮原コミュニティの会より景観資源として登録することの推薦を受けました。

これを受け、関係市の有田市、和歌山県景観審議会(会長：西村幸夫東京大学教授)の意見をいただき、和歌山県として景観資源に登録するにふさわしい眺望点であることから、平成27年10月28日、和歌山県景観資源第2号として登録します。

#### 和歌山県景観資源登録

良好な景観の形成に寄与している建造物や樹木、眺望点などを、和歌山県景観資源に登録し、保全や活用を図る制度

(和歌山県景観条例第10条)

